

第2回県立高等学校編成整備に関する懇話会概要

|           |   |
|-----------|---|
| 開催した会議の名称 | 第2回県立高等学校編成整備に関する懇話会  |
| 開催日時      | 平成23年4月13日（水）10：00～12：00  |
| 開催場所      | （所在地）〒900-8571<br>沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号<br>（会場名）沖縄県庁12階第4会議室  |
| 出席者       | 委員（懇話会会長）前泊委員<br>（会長代理）前新委員<br>上地委員、北川委員、城間委員、三村委員、宮城委員<br><br>事務局（総務課）<br>嘉数企画監、渡久山主任指導主事、桃原指導主事、<br>大嶺主査<br>（県立学校教育課）<br>山城班長、小成主任指導主事、津留指導主事<br>（義務教育課）<br>川上指導主事  |
| 会議の公開・非公開 | 公開  |
| 傍聴者の人数    | なし  |
| 会議の概要     | <p>1 開会</p> <p>2 新委員自己紹介・事務局自己紹介</p> <p>3 事務局説明</p> <p>①新聞報道について</p> <p>②第1回懇話会の概要説明</p> <p>③ホームページ掲載文について</p> <p>・資料3のとおり掲載する</p> <p>④【素案】の変更点について</p> <p>・中学生卒業生数等、時点修正を2か所</p> <p>・内容は変わらないが、記述の修正を2か所</p> <p>4 議題</p> <p>【素案】のP1～P15について</p> <p>前回の1ページから8ページ〔I 本県県立高等学校編成整備の現状と課題〕での積み残しを中心に進められた。</p> <p>各委員からの意見は下記のとおりである。</p> <p><b>&lt;主な論点&gt;</b></p> <p><b>インターナショナルスクールについて</b></p> <p>○スタート当初美里高校へインターナショナルスクールを設置する計画があったが、人、物、金がかかるので厳しい状況があったと思う。</p> <p>○アミークスが小中一貫校となっているので、その延長上に高校を設置する計画がよいと思う。</p> <p>○アミークスは、小中学校を設置する計画のようだが、中高一貫での設置となると中学生に重複がでて余計に難しくなる。</p> |

- 教師の養成では、教育センターでも各教科を英語で教えるための研修が行われたが、すべての授業を英語で教えることが出来るのか課題が多い。また、研修を終えた教員が研修後別々の学校に行くことも課題である。
  - 大学進学の際に受験指導等で問題もあるので、実施できなかったという理由がある。設置は難しいのではないかな。
  - インターナショナルスクールの小中学校で学んだら、同じように高校にも進みたいということになると思う。
  - 教師は外国人でもよいのではないだろうか。
  - 生徒にとっても、通常の会話を英語で行える能力があり、その上で数学や理科などでは、専門用語を英語で理解する必要があり、英語以外の教科を英語で理解するためのハードルは高い。
  - インターナショナルスクールの卒業後を心配する考えも多いと思うが、県として出口をつくり出すことも考えたらどうか。
  - アミックスを卒業する生徒がでてくるのは2016年なので、その時にまず高校をつくるという計画はどうか。
  - アミックスの卒業生は、国際性を身につけるのだから、外に向くと思う。
- 中高一貫のスタイルではなく高校のみにし、既存の高校の関連学科を含め発展させるという考え方にまとめたい。

#### **那覇中等教育学校について**

- 中等教育学校については、那覇地区にということになっている。那覇市においては、全市内で平成26年から遅くとも28年には、小中一貫教育を導入する予定である。
- 那覇地区の伝統校に中高一貫校をつくってはどうか、他の中学校からも高校へは入学できるようにする。
- 中等教育学校は、6年間の教育課程で効果を産むもので、県外では伝統校が導入している事例がある。

#### **中高一貫教育校全般について**

- 京都の堀川高校では「習得・活用・探求学習」を取り入れて学校が活性しており、中学校でも共通した教育課程として取り組んでいる。伊良部高校などの中高一貫でもこのような取り組みは参考になるのではないかなと思う。
- 連携型の中高一貫校では、高校と中学校に距離があることなど物理的な課題があるが、中学校と高校の職員間の雰囲気はよい。
- 併設の中高一貫校についても、与勝高校が併設中学校の生徒保護者の期待に応えきれていない部分があると思う。

#### **南部総合実業高校について**

- 計画に反対している核になるような団体、地域の理解を求めように進める必要があり、県の考え方を理解してもらい、場、地域との話し合いの場を持ち、理解してもらい計画がまだ生きているのなら実施できるように努めてほしい。

5 連絡 次回懇話会 4月26日(火) 15:00~17:00

※欠席の場合は、事前に質問・意見等を提出してもよいとい

|        |  |
|--------|--|
|        | うことにする。  |
|        | 6 閉会   |
| 会議資料   | 資料1 懇話会委員一覧<br>資料2 新聞報道について<br>資料3 第1回県立高等学校編成整備に関する懇話会概要<br>資料4 【素案】の変更点について<br>資料5 県立高等学校編成整備の基本方向（素案） |
| 問い合わせ先 | 担当課 沖縄県教育庁総務課教育企画班（渡久山・桃原）<br>電話 098-866-2705<br>FAX 098-866-2710  |